

榎の実学習会閉講式「一年間のまとめ」

2月15日、下榎集会所で、「令和3年度榎の実学習会閉講式」を、小中学校合同で行いました。

はじめに、生田教育長から、「今年も新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた計画が出来なかつたこともありましたが、11月に開催された解放文化祭の展示では、がんばって学習に取り組んでいた様子が伝わってきました。人権は、世界中の人が考えていかなければならない大事なことです」と、あいさつがありました。

次に、小学生が6年間の学習会の振り返りを、中学

生はコロナ差別について学習したことについて、それぞれ作文を発表しました。（※一部抜粋）

最後に、小中学校の校長先生から、「発表を聞いて、皆さん充実した学習を積み重ねていると思いました。コロナがあったから出来なかつたこと、制限されたことがたくさんありましたが、制限された中で一杯学習する姿が素晴らしいと思います。

今は自分が住んでいるところだけではなく、世界のいろいろな人権問題を考えてそこから学ぶことがたくさんあります。コロ

ナ差別から学ぶことも多いです。皆さんの発表を聞きながら、それを自分の学びとして生かしていける人間に自分もなりたいと思います。これからもいろいろな刺激を受けながら、学びを続け進んでいきましょう」と、激励の言葉をいただきました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、行事など中止や縮小する形で進めてきました。学習会にご理解とご協力をいただき、教職員の皆さんをはじめ関係者の皆さんには感謝申し上げます。ありがとうございました。

小学生作文（※一部抜粋）

私が思い出に残ったことは、目の不自由な人の体験と、竹永さんのお話を聞いたこと、地域調べ、木工製作です。

目の不自由な人の体験では、目かくしをして階段を昇り降りしてみても、見えないから日常生活の大変なことが分かりました。目の不自由な人は料理や買い物をするのが大変で

も、身の回りのことが出来て

いるのですごいと思いました。

いろいろな事を体験することができて、いろいろな人と

出会うことができました。学習会があったから、自分の夢

（将来になりたいもの）についても考えることができました。

楽しい思い出を作ることができました。

中学生作文（※一部抜粋）

学習の動機は、自分の周りでコロナ感染者が出て差別に苦しむ人がいないようにしたいからです。

学習していくと、マスコミにあおられた世間や責任回避をしたい人がコロナ差別をしていることが分かりました。責任回避をしたくないからといって、コロナ感染者を悪者にして差別するのはダメだと思いました。

シトラスリボンプロジェクト

－差別心に打ち勝ち心を一つにする活動－

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛県の有志の呼びかけから始まった運動です。愛媛特産のかんきつ類にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身に付けて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動。リボンやロゴで表す3つの輪は、「地球」「家庭」「職場（もしくは学校）」を表現しています。「ただいま」「おかえり」と言い合える町なら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。

感染者が「でた」「でない」ということより、感染が確認された「その後」的確な対応ができるかどうか。みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。コロナ禍の「その後」も見据え、暮らしやすい社会を目指しませんか？



▲中学生手作りのシトラスリボン

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

対策、お役立ち情報など
押さえておきたい
情報満載！

第9回

獣害対策 アップデート

柵点検のコツ

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野風花【問合せ】電話 72-1399

前は、冬季におけるワイヤメッシュ柵の破損についてお話ししました。今回はワイヤメッシュ柵の点検のポイントと、点検方法のコツについてお話ししたいと思います。

点検ポイント

- ① 柵が変形していないか
- ② 柵が浮いていないか
- ③ 結束が切れていないか

これらのポイントを点検時に見落とさないコツとして、指さし目視確認・下部足蹴り確認・上部揺さぶり確認、以上3つの方法があります。

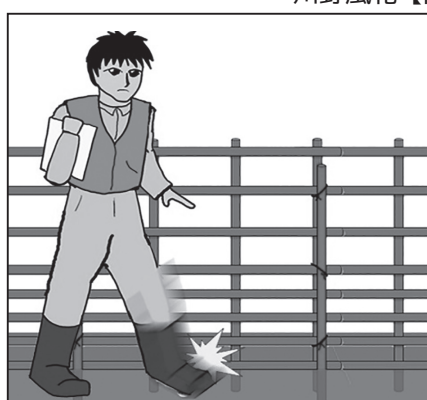
1. 指さし目視確認

イノシシが柵を変形させたり、柵下部を掘り起こし持ち上げたりするため、柵全体に問題が無いかを確認します。特に結束線は劣化し切れてしまうこともあるので、結束が上中下の3カ所あるか、指さし目視で確認

することをオススメします。

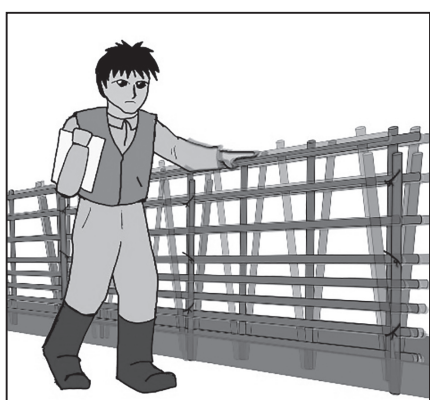
2. 下部足蹴り確認

柵の下部を蹴り、揺れが大きい・揺れが収まらない場合は、柵が地面に刺さっていない・下部の腐食・獣による持ち上げなどが考えられます。



3. 上部揺さぶり確認

柵をゆすり、4〜5枚先まで揺れが伝わっている場合、支柱の穴の広がり・地面の軟化・結束の緩みなどが考えられます。



点検時にお役立てください！

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

～こんにちは、消費生活相談員です～

知って安心！消費生活のはなし



炊飯器や電気ケトルなどの蒸気による 乳幼児のやけどに注意！

事例①：電気炊飯器をキッチン内の高さ 60 cm 程度の引き出しの上に置いていた。母親が泣き声で気づくと、炊飯器の蒸気口に両手を置いていた。24 日間の入院となった。(1 歳 2 カ月男児)

事例②：キッチンの床に置かれた電気ポットを沸かしている最中、子どもが手を当てやけどした。(10 カ月男児)

アドバイス

在宅ワークをする機会が増加しています。また、保育園などの休園で子どもと一緒に自宅にいることも。そんなときうっかりしていると、事故は起きます。電気炊飯器、電気ポット、電気ケトル、加湿器（スチーム式）から出る蒸気は、数秒触れただけでやけどを負うおそれがあります。乳幼児が蒸気に触れることがない位置に設置するなど、十分注意しましょう。



お買い物のトラブルの相談や、身近な製品による事故など

一人で悩まず、相談は役場産業振興課内、消費生活相談窓口（電話 72-0336）へ
※消費者ホットライン「188（いやや!）」は、全国共通の3桁の電話番号です。